

# ライシテからみる フランス美術

信 仰 の 光 と 理 性 の 光

2026.1.17 sat. — 3.22 sun.

開館時間 午前9時30分—午後5時(入場は午後4時30分まで)

休 館 日 月曜日(ただし2月23日[月・祝]は開館)、2月24日[火] \*会期中、一部の作品の展示替を行います。

観 覧 料 一般1,000円(800)円、学生800(600)円、高校生以下無料

\* ( )内は前売および20名以上の団体割引料金

\* この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。

\* 生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。

\* 障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

\* 教育活動の一環で県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

\* 毎月第3日曜の家庭の日(1月18日、2月15日、3月15日)は団体割引料金でご覧いただけます。

\* 主な前売券販売所:チケットぴあ、ファミリーマート、セブンイレブンほか

## 三重県立美術館

Mie Prefectural Art Museum



主催: 三重県立美術館、中日新聞社

特別協力: 町田市立国際版画美術館 / 企画協力: 下野新聞社 / 学術協力: 伊達聖伸(東京大学大学院総合文化研究科教授)

助成: 公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会(以上展覧会助成)、

公益財団法人ポーラ美術振興財団(調査研究助成)

公益財団法人  
ポーラ美術振興財団  
POLA ART FOUNDATION

モーリス・ドニ 《聖母月》1907年 ヤマザキマザック美術館

Laïcité

et Art français :

lumières de la foi et de la raison



ドラクロワ、ミレー、ロダン、モネ、ピカソ、シャガールの作品が一堂に

# L'laïcité et Art français :

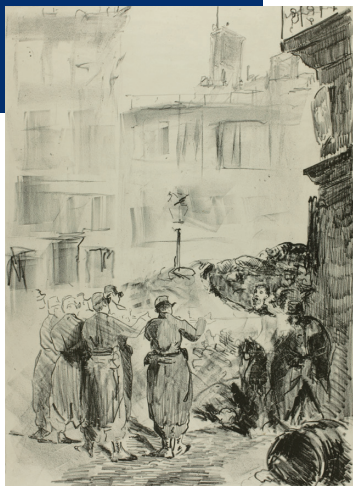
lumières de la foi et de la raison



ピエール・ビュヴィス・ド・シャヴァンヌ《聖ジュズヴィエーヴの幼少期》1875年頃  
島根県立美術館



ジョルジュ・ルオー《秋の夜景》1952年  
パナソニック汐留美術館



エドゥアール・マネ《パルク》1871年頃  
町田市立国際版画美術館  
展示期間(予定): 2月15日(日)まで



ラウル・デュフィ《ピエール・ジュスマール氏の肖像》1932-1938年頃  
宇都宮美術館



オーギュスト・ロダン《カレの市民》(第二試作) 1885年、鋳造年1977年 ボーラ美術館

「ライシテ」とは、国家が宗教から自律し、人々に信仰の自由や平等を保障する制度、そしてそれを支える思想のことです。フランス共和国の根幹をなす概念ですが、異なる宗教を信じる／信じない人々の共生のための理念から、政治権力と宗教の厳格な分離に至るまで、ライシテは複数の顔を持ちます。

本展は、フランス近代美術にライシテという補助線を引き、新しい楽しみ方を提案するものです。18世紀末におこったフランス革命は、人間の理性に光を見出し、王政とカトリック教会による支配を否定して新たな秩序を築こうとしました。その後、カトリック国としての伝統を取り戻そうとする人々と、革命の理想を引き継いでライシテを推進しようとする人々の間で対立が起こります。美術もまた両者の争いの影響を受けながら、しだいに教会の権力から離れ、それ自体で「聖性」を獲得していきました。本展では、フランス革命期から20世紀半ばまでのフランスの油彩画、版画、彫刻等を紹介し、国内コレクションの珠玉の作品群に新しい光をあてます。

## ■ 関連プログラム

\*手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

\*追加・補足情報は、美術館ウェブサイトに掲載します。

### 1. 記念講演会

#### 「ライシテからみるフランス美術 — 展覧会をもっと楽しむために —

本展の学術協力者である伊達聖伸氏が、展覧会の見どころや、「ライシテ」とは何かについてお話しします。

日時: 2月7日(土) 午後2時～(90分程度) / 午後1時30分開場

会場: 三重県立美術館 講堂 \*会場に直接お越しください。

講師: 伊達聖伸(東京大学大学院総合文化研究科教授)

定員: 140名(当日先着順)、参加無料

### 2. 担当学芸員によるスライド・トーク

本展と関わりの深いテーマについて、スクリーンに画像を投影しながらお話しします。

日時: 2月15日(日)、3月14日(土)

午後2時～(40分程度) / 午後1時30分開場

会場: 三重県立美術館 講堂 \*会場に直接お越しください。

定員: 140名(当日先着順)、参加無料

### 3. 担当学芸員によるギャラリー・トーク

展示室内で数点の作品を鑑賞するツアー。

展示室に入るためチケット(観覧券)が必要です。

日時: 1月24日(土)、3月1日(日) 午前11時～(30分程度)

会場: 三重県立美術館 企画展示室 \*展示室入口にお集まりください。

## ● 次回企画展

生誕100年 神莫山展(予定)

2026年4月4日(土)～5月31日(日)

## 三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

〒514-0007 三重県津市大谷町11

TEL. 059-227-2100 / FAX. 059-223-0570

Follow us on X @mie\_kenbi

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>



美術館  
ウェブサイト

## ■ 交通アクセス

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「津西ハイタウン行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。  
\*駐車場(約130台)もご用意していますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

